

夢を  
追つて

夢を追い続ける大人たち。  
これまでの道のり、  
将来の目標、  
そして子どもたちへの  
メッセージを届けます。

# 福祉×ロボティクスで バリアフリーの世の中を 実現することを目指す

株式会社オリイ研究所 共同創設者 取締役最高執行責任者(COO)

結城明姫氏

## 小学1年生から 科学コンテストの常連に



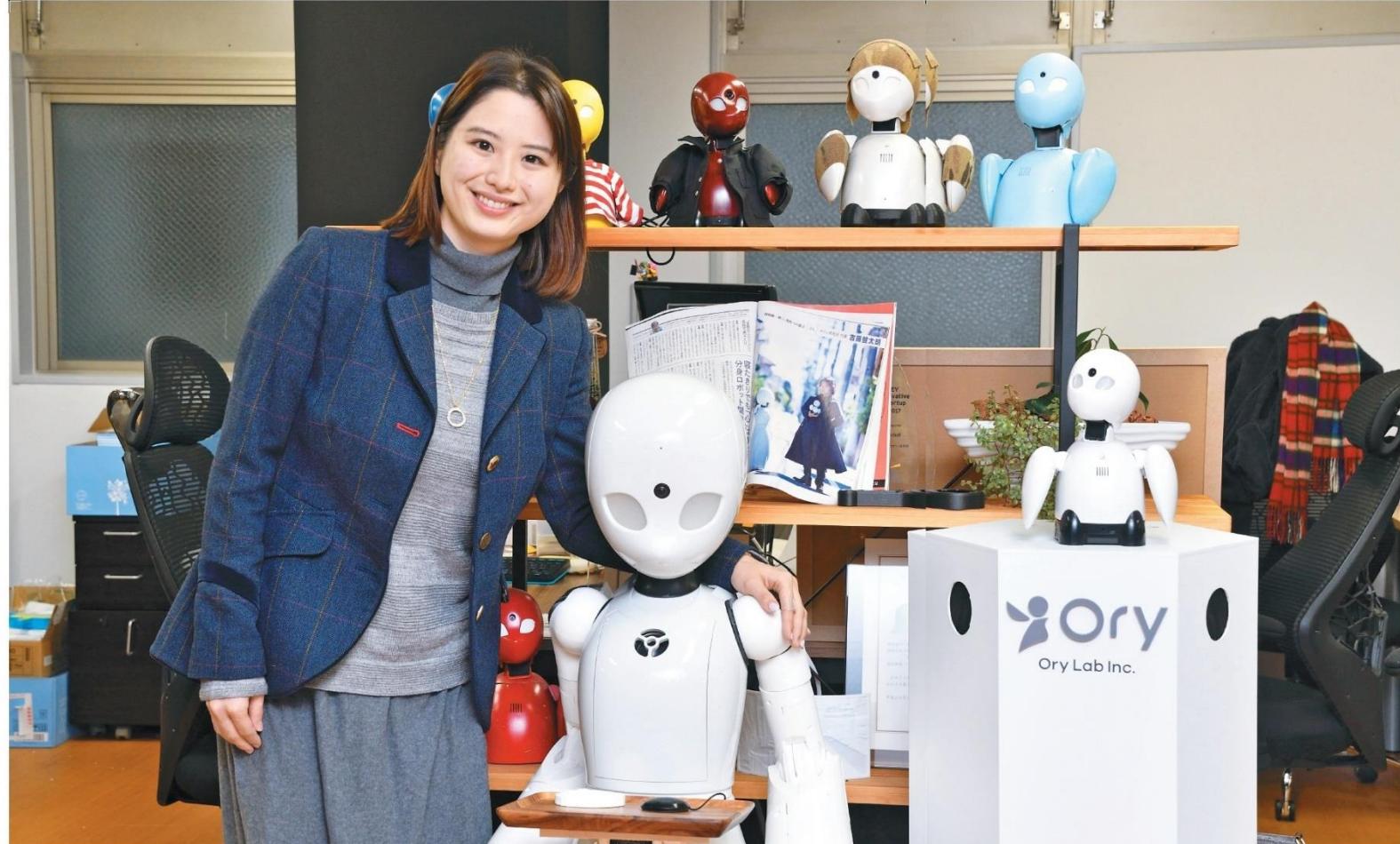
Ory  
Ory Lab Inc.

Ori-Himeは、私がCOOを務めるオリイ研究所が開発した分身ロボットです。スマートフォンやタブレットを使って遠く離れたところから操作でき、ロボットが見聞きした状況を受信することで、あたかも自分がその場にいるかのような感覚を味わえます。さらに、カメラ、スピーカー、マイクを内蔵しており、通信機器を通して離れたところにいる人と会話をしたり、腕や首を動かして感情を伝えることも可能。たとえば、病気やけがなどの事情で通勤・通学ができないときに、Ori-Himeを学校やオフィスのデスクに置くことで、授業や会議に参加します。

たり、周囲とコミュニケーションをとることができるのができるというわけです。

私たちがこのOri-Himeを開発した背景には、開発者であるオリイ研究所代表の吉藤オリイ氏と、私自身の子ども時代が大きく影響しています。

小学生の頃は、何に対しても好奇心旺盛な子どもでした。小学1年生のときには、カタツムリが大好きになり、学校帰りに3000匹のカタツムリをつかまえ、大きな水槽に入れて観察。色の異なる個体同士を結婚させたら、生まれる子どもは「何色になるのか?」など、さまざまな実験をしていました。それを見ていた母が、「せっかくだから研究としてまとめて、科学コンテストに応募してみたら?」と言つてくれて。早速カタツムリについてまとめた研究を自然科学観察コンクールに応募したところ、小学生の部で「等賞」。そのとき、「興味あることを調べたり、自分なりに突き詰めるとほめられるんだ!」と思いました。以来、近所の古



### ●ゆうき あき

1990年 東京都生まれ  
2008年 見習学園高等学校を卒業後、国際基督教大学教育学部アーツ・サイエンス学科入学  
2011年 ロンドン大学に留学し、経営学を専攻  
2012年 株式会社オリイ研究所設立  
2013年 国際基督教大学卒業  
2019年 Forbes JAPAN「30 UNDER 30 JAPAN 2019」サイエンス部門に選出

## がんばることが できたの？



【過去の自分から質問！】

い神社や祭りの由来を調べたり、歌人だつた曾祖母を真似で短歌をつくったり。文理を問わずにあらゆることにチャレンジし、研究することの楽しさにはまつていきました。

中学時代にも、私にとって大きな出来事がありました。ある日、家の蔵を掃除していると古い巻物が見つかって。そこには、結城家が関わる幕末の騒動についての未公表の事柄が記されていたんです。「これは何かの発見につながるかもしれない！」と思い、結城家の歴史を中学生の卒業論文として執筆。巻物の記述をもとに、歴史書の中で不明となっている部分に新たな仮説を加えて提出しました。その論文では表彰を受けることができて。まだ誰も見たことがない、誰も知らないことを自分の力で調べて世の中に発表する楽しさを、改めて実感しました。

**結核で入院・療養体がもう一つあれば……**

高1のときは、蛇口から流れる水中に空気の柱が伸びる現象について研究。これは小学生の頃に抱いた疑問でしたが、当時は流体力学の知識がなく、高校生になって改めて取り組んだんです。その成果を高校生科学技術コンペティション（J-SEC）という科学コンテストで発表すると、文部科学大臣賞を受賞。5か月後にアメリカで開かれる国際大会への出場資格を得ました。しかし、国際大会を前に結核を患つ

てしまい、渡米を断念。半年間、療養生活を送ることになりました。

核は感染症なので体調が落ちingいても外出を控えないと孤独の中で、「体

がもう一つあれば……」と切に願いました。療養を終えて元気になると、国際大会に行けなかつた悔しさをバネに再びJ-SECに挑戦。上位の賞を受賞し、国際大会に参加しました。

病気自体はつらい経験でしたが、J-SECに2度参加したことでの受賞OB・OGらとの交流が深まりました。オリィ研究所代表の吉藤氏もその一人。彼は幼少期から入退院を繰り返し、深い孤独を感じた経験から「孤独を解消し、利用者の分身になるロボットをつくりたい」という夢を抱いていました。高2で追加したOB・OGの集まりでその構想を聞き、「その分身ロボこそ、過去の私がほしかったものだ！」と思って。それを実現すべく、吉藤氏の構想に賛同した数名で自主プロジェクトを立ち上げました。

プロジェクトの運営と並行して、大手は国際基督教大学（ICU）教養学部へ進学。文理選択の概念がない教養学部は、科学も歴史も何もかも好きになりました。9か月後にアメリカで開かれる国際大会への出場資格を得ました。しかし、国際大会を前に結核を患つ

将来の職業は、大きな組織の中で働くよりも、自分で発見した身近な課題を自ら解決するような仕事をしたいと考えています。

同じ頃、軽余曲折を経てOriHimeの初号機が完成。当初は分身ロボと言つてもなかなか理解されず、商品化までの道のりは決して平坦ではありませんでした。しかし、入院中の方に実際に使ってもらうことでも、周囲の評価は大きく変わっていました。分身ロボを通してその人の存在を伝達し、自然なコミュニケーションができるようになりました。OriHimeを自家のリビングに置いてインターネットに24時間つなぎ、おけば、「黙つ正在して、いつも一緒にいられる」というOriHimeの真価が伝わったのです。

長期入院中の男性が、「OriHimeのおかげで、家族と花見ができたよ」と涙ぐみながら話してくれたときは、私も



**身近な不思議について調べる習慣をつけよう！**

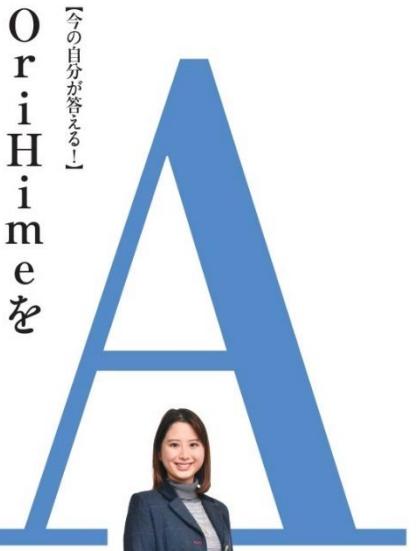
現在は、軽量で持ち運べる卓上タイプのOriHimeを月額レンタルで提供。個人の利用をはじめ、入院する生徒が多い特別支援学校のほか、NTT東日本でも在宅勤務社員のテレワーカツールとして導入が進んでいます。また、高さ1mを持続可能なサービスにしたるために組織を法人化するのは自然な流れでした。ただ、共同創設者3名のうち、私は外に完全に技術畠の人間。そこで、経営にも興味がある私がロンドン大学で経営学を学び、ビジネスサイドを担うことになりました。私は高いハードルを掲げて期待される「がんばるタイプ」(笑)。それは子ども時代に科学コンクールに挑戦し、「期待されがんばると楽しい!」という実感を得たおかげかもしれません。そしてICU卒業間近の2012年9月に、株式会社オリィ研究所を設立しました。

胸がいっぱいになつたものです。いつしかOriHimeというプロジェクトは私の中で、課題解決を超えた大きなやり甲斐に成長していました。利用者の喜びの声を受け、OriHimeを持続可能なサービスにしたるためには、組織を法人化するのは自然な流れでした。ただ、共同創設者3名のうち、私は外に完全に技術畠の人間。そこで、経営にも興味がある私がロンドン大学で経営学を学び、ビジネスサイドを担うことになりました。私は高いハードルを掲げて期待される「がんばるタイプ」(笑)。それは子ども時代に科学コンクールに挑戦し、「期待されがんばると楽しい!」という実感を得たおかげかもしれません。そしてICU卒業間近の2012年9月に、株式会社オリィ研究所を設立しました。



■ 写真左は全長約120cmで移動が可能な「OriHime-D」。ものをつかんだり運ぶことができる。■ OriHimeは手や顔を動かすことができ、感情を伝えられる。

## 肉体的・物理的制限に悩む世界中の人に届けたいから



【今自分が答える!】

### OriHimeを

肉体的・物理的制限に悩む世界中の人に届けたいから

将来的の職業は、大きな組織の中で働くよりも、自分で発見した身近な課題を自ら解決するような仕事をしたいと考えています。

将来の職業は、大きな組織の中で働くよりも、自分で発見した身近な課題を自ら解決するような仕事をしたいと考えています。